

中期期間評価に係る事務局整理表

資料3-4

番号と評価事項 (※計50項目 番号は中期計画及び年度計画の番号)		大学 自己 評価	事務局 評価	(参考)昨年度以前の評価内容			
				中間評価	年度評価		
				H31～R3	R3	R4	R5
1	大学入学者選抜改革への対応	A	2	2	—	着実	—
2	外国人留学生の受け入れ増加に取り組む	A	2	2	—	新規	着実
3	大学院の入学者確保に向けた取組の推進	A	3	3	課題	課題	課題
4	県立大学独自の「もやいすと育成システム」を完成させる	A	2	2	独自 着実 注目	独自 着実 注目	独自 着実
5	もやいすとグローバル育成プログラムの着実な実施 社会人特別選抜（国際協力枠）創設後初の合格者誕生	A	2	2	着実	着実	着実
6	英語を含む外国語教育の改善	B	3	3	課題	課題	課題
7	学生の英語能力の向上に向けた取組の推進	A	2	2	着実	着実	着実
8	学修成果の可視化と適切な評価に向けた取組み	A	2	2	—	—	—
9	全学部全学科（環境共生学科食健康環境学専攻を除く）へのキャップ制導入	A	2	2	—	—	新規
10	個人指導や試験対策講義による管理栄養士国家試験合格率100%の確保	A	2	2	顕著	顕著 着実	顕著 着実
11	中期的な人事計画に基づく教員採用の実施	A	2	2	—	—	—
12	全学、学部、研究科におけるFDの実施	A	2	2	着実	着実	着実
13	教育活動の充実に向けて、教育の実施体制を必要に応じ見直す。	A	2	2	独自	着実	着実
14	ボランティア活動や課外活動の活性化に向けた課題への対応	A	2	2	—	—	—
15	授業料減免制度や奨学金制度	A	2	2	独自 着実	独自	独自 着実
16	学生の心身に係る健康支援と修学支援への取組	A	2	2	—	—	—
17	新キャリアデザイン教育課程実施に向けた検討	A	2	2	—	—	—
18	学生の就業力の育成と県内就職の促進の取組み	A	2	2	—	—	—
19	各研究科における地域課題に貢献する研究の推進と成果の発信	A	2	2	新規 顕著 注目	独自 着実	独自 着実
20	科研費への応募義務化	A	2	2	顕著	着実	着実
21	研究支援体制の充実・強化	A	2	2	着実	着実	着実
22	研究支援体制や支援策の検証・課題解決に向けた取組み	A	2	2	—	—	—
23	学術情報基盤の充実・アーカイブ資料のホームページでの公開	A	2	2	—	—	—
24	地域おこしスタートアップ事業や被災地域復興・再生支援事業等を活用した地域貢献の推進	A	2	2	着実	着実	—
25	「地域に学び、地域に伝える」を基本理念とする 「食育ビジョン」の推進	A	2	2	着実	着実	独自 着実
26	共同研究・受託研究の継続的な実施	S	1	2	独自 顕著 注目	着実	顕著 着実 注目
27	地域の様々なニーズに応じた学習機会の提供	A	2	3	独自 新規 注目	着実	着実
28	海外留学・研修メニュー等の充実	A	3	3	—	着実	新規 着実

番号と評価事項 (※計50項目 番号は中期計画及び年度計画の番号)		大学 自己 評価	事務局 評価	(参考)昨年度以前の評価内容			
				中間評価	年度評価		
				H31～R3	R3	R4	R5
29	学生の留学支援策（経済支援、危機管理対応等）に係る検討・周知	A	2	2	着実	新規	新規
30	様々なイベントを通じた学生の国際的視野の涵養への取組み	A	2	2	—	—	着実
31	留学生受入プログラムの検討・整備	A	2	2	—	—	新規 着実
32	海外協定校等との研究者交流や共同研究等の実施	A	2	2	—	顕著 着実 注目	着実
33	理事長と学長による政策的、効果的な大学運営と 新型コロナへの対応	A	2	2	着実	着実	着実
34	地域・研究連携センター、デジタルイノベーション推進センターの設置 持続社会地域共創拠点運営機構設置	A	2	2	独自	新規 着実	着実
35	計画的なSDの実施	A	2	2	着実	—	着実
36	個人評価制度等による教員の教育研究活動の評価と改善	A	2	2	—	—	—
37	女性教員比率20%以上に向けた取組の推進	A	2	2	—	—	—
38	プロパー職員の人材育成に係る取組の推進	A	2	2	—	—	—
39	アクションプランの策定・実行による業務改善や 時間外勤務削減の取組み	A	2	2	—	—	—
40	入学志願者・学生納付金の安定確保と 社会状況等に応じた改定の検討	A	2	2	—	課題	課題
41	研究支援体制の充実・強化	S	1	1	顕著	着実	着実
42	熊本県立大学未来基金の活用	A	2	2	—	—	—
43	経費節減に係る取組の点検・改善と 効率的な運送及び経費抑制の実施	A	2	2	—	—	—
44	大学の諸活動に係る点検・評価と改善の取組み	A	2	2		—	—
45	教育研究活動及び新型コロナウイルス感染症対策等に係る 積極的な情報発信	A	2	2	着実	—	—
46	施設設備の適正な維持管理と計画的な整備改修の実施	A	2	2	—	—	—
47	情報セキュリティ対策の強化	A	2	2	—	—	着実
48	新型コロナウイルス感染症に対する事業継続対応も含めた防災・減災対策の強化	A	2	2	—	—	—
49	教育員の心身の健康相談・健康管理等の取組み	A	2	2	—	—	—
50	パワーハラスメントを中心とした意識啓発等の取組み	A	2	2	—	—	—
		S・1	2	2	1		
		A・2	47	45	45		
		B・3	1	3	4		
		C・4	0	0	0		
		計	50	50	50		